

# タイの陶芸家が陶炎祭に参加

## ドイトンコーヒーも熊本地震でチャリティー

茨城県下最大の陶芸の祭典、「第35回笠間の陶炎祭（ひまつり）」が4月29日から笠間市の笠間芸術の森公園イベント広場で開催され、笠間市と「陶芸における協力関係強化に関する覚書」を昨年4月に締結したメーファールワン財団のタイ人陶芸家が参加。ドイトンコーヒーも熊本地震のチャリティーで出店しました。陶炎祭は、200人を超える陶芸家たちが参加し、約1週間の開催期間中に51万人を超える来場者でにぎわいます。

笠間市は覚書に基づき、技術交流のため2月、陶芸家の根本達志さんと戸田浩二さんをタイに3週間派遣。タイ人陶芸家に技術指導をし、今回の陶炎祭で、笠間焼との技術交流で制作した作品を日本で初お披露目しました。

陶炎祭に合わせて、タイ人陶芸家9人も来日。メーファールワン財団CEOのプアングロイ・ディスクル妃殿下（クンイン妃殿下）も来日し、根本さんと戸田さんの2人に感謝状を手渡し、日本でのタイ陶芸作品の反応などを見ていました。

タイのブースを訪れた人たちは、タイの土と釉薬で作った作品と知ると驚き、タイ北部の麻薬撲滅活動の一環として陶芸に取り組んでいると知ると、興味を増して作品をじっくりと鑑賞。「形や色遣いが日本の作品と一味違う」と感想を話していました。



また、陶器を展示している隣では、ドイトンコーヒーをチャリティーで無料提供しました。このコーヒーも麻薬撲滅を目指してタイ北部で生産しています。コーヒーを待つ人たちが長蛇の列を作っている時間帯もあり、人気を集めていました。

平成28年4月30日



来日した9人のタイ陶芸家とクンイン妃殿下

